



第1101号
2008年11月16日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◆教役者レクイエム

11月19日(水) 午前10時半
主教座聖堂
説教 主教 植田仁太郎
▽司祭杉浦義道▽主教後藤文蔵
▽司祭西村敬太郎▽司祭鈴木光武▽司祭矢崎健一▽執事島田弟丸▽司祭坂野移文▽司祭竹田鐵三▽司祭鈴木勉▽司祭栗飯原謙▽伝道師水上春枝▽司祭藤井慶一▽司祭今井献

◆とこしえの平安

10月23日 島田 一子(76) 聖十字
10月24日 鎌田 栄一(93)
10月27日 平山 とみ(98) 三光
10月30日 熊谷志奈子(86) 八王子復活

今週・来週の予定

11月16日~29日

- 16(日) 聖霊降臨後第27主日
主教巡回 聖マルチン教会
外濠G教会協議会(諸聖徒)
環状G教会協議会(立教)
山手G教会協議会(聖三一)
多摩G教会協議会(八王子)
モニカ会幹事会(神学院)
- 18(火) 礼拝音楽委員会
聖職養成委員会
- 19(水) 教役者レクイエム
正義と平和協運営委員会
- 23(日) 聖霊降臨後最終主日・キリストによる回復(降臨節前主日)
主教巡回 東京聖十字教会
第107(定期) 教区会
- 24(月・休) 銀座朝拝会
- 25(火) 山手G牧師協議会(聖三一)
- 26(水) 信仰と生活委員会
人権委員会(聖バルナバ)
HP小委員会
- 27(木) 教区・光の礼拝(主教座)
山手G光の礼拝(聖愛)
- 29(土)

10月30日 島 和子(72) 聖マーガレット
10月26日 千住基督教会
▽島野高広(千住基督)
▽東京聖三一教会で「世界平和を祈るつどい」 11月22日(土) 14時~16時、世田谷宗教者懇話会主催。第1部「祈り」のあとミニコンサートも。会場 Ⅲ03(3421) 3646。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

学期中毎朝8時30分から行われる「始業の祈り」。毎週木曜日はチャプレンの講話に代えて主に4年生が各々のキャンパスライフを振り返り語ってくれる。

「立教のシンボルであるこのチャペルで話すことができて幸い」と4年間の体育台活動を熱く語る学生。残念ながら4年間チャペルとはほとんど縁のなかつた彼らが、それでもチャペルを立教のシンボルと評することを素直にうれしく思う。キリスト教

を感しては、4年間を学生キリスト教団

を感しては、4年間を学生キリスト教団

を感しては、4年間を学生キリスト教団

始業の祈り

司祭 八木正言

ルに集わされ礼拝での奉仕がその活動の中心であることを知って戸惑った。しかしそこで与えられた会衆はしめさまさまな出会いから人に仕える喜びを知り、「奉仕」が学生生活をおくるうえで「キー・ワード」となったばかりか今では「奉仕活動」を旨とした4年間を誇りに思える。語る学生。訥々と、しかし熱く語られるこれらの言葉はどれも、後輩たちにチャペルの関わりを熱心に勧める姿であり聴いていて胸が熱くなる。彼らこそが立教「建学の精神」を最前線で支える存在であり、そしてチャプレンのとつて善きチー

ムメートなのだと思える。チャペルに立つ彼らの姿が輝いているのは、四季を通じてこの時間窓から差し込む陽光のためばかりではない。4年間、他でもないこの大学で過ごした喜びと誇りが放つ光なのだと思わされる。そんな姿に触れることのできる「始業の祈り」の時間は、紛れもなく恵みのときである。

(立教大学チャプレン)

信仰と生活委員会報告

(10月31日)

*青年活動支援部会報告ⅡCO
A活動の今後に向けての討議。
*信徒講座(山口里子講師)実施報告と反省。他教派からの参加者も多々。
*各教会の宣教・伝道に参与する件(継続審議)。

*代祷と信施に関する、各教会の対応についてシェアリング。

*他教区と交流を持つ教会での成果のシェアリング。
*各教会グループ、正義と平和協議会、SS連絡会、一粒の麦の会等の諸活動報告。

*主教報告、その他。

▽聖パウロ教会の次主日礼拝

Ⅱ東京スコラ・カントールムに

よるアンセム奉唱 11月23日10時半、聖餐式で3曲。同教会Ⅲ03(3710)6031。

▽山手G(降臨節前光の礼拝) 11月29日(土)18時、聖愛教会で。司式・長谷川正昭司祭、説教・聖公会神学院校長広谷和文司祭。会場教会Ⅲ03(3416)1819。

▽浅草聖ヨハネ教会で台東九条の会南部地区の集い 11月19日(水)18時半、「もう一度『靖国』を考える!」、上映問題をめぐって。会場Ⅲ03(3851)9521。

▽モニカ会幹事会(東京教区神学生後援会) 今年2回目となる、各教会・礼拝堂担当者が参加する集会で、本日(16日)15時より神学院で開かれる。

《今、この教会では…》

聖救主教会

日曜学校の礼拝に集う子ども達の主流は、小学低学年までである。3年生にもなると自分の意思で来なくなる傾向が著しい。そこで小3以上の子どもを中心に、思う存分遊ぶことができる子どもクラブを作った。何でも自力と協力で、どうにかこうにかやり通せる子になる事を目指す。お世話係には立教大の学生が参加。ドッジボール、料理、ハイキング、夏には北海道やフィリピンの珊瑚礁の島の教会への訪問。であれば英会話も。これは毎回聖オルバン教会のセシリアさんが担当。さあ船出だ。宣教委員会の試みである。

(司祭 神崎雄二)

【学びと働きから】91

日本聖公会平和ネットワーク
全国の集いに参加して

10月12、13日、京都聖三一教会を会場に「日本聖公会平和ネットワーク全国の集い」が開催されました。参加者は大阪・京都・横浜・東京教区から33人(うち聖職者10人)。

12日18時からの開会礼拝に続き、井田泉司祭の基調講演「憲法と平和の福音」。日本国憲法の三つの幹―主権在民・戦争放棄・基本的人権の保障、ことに平和的生存権が脅かされつつある今日の状況の中で、ルカ福音書に語られている平和について学びました。そして、主権者として国と社会の有り様を担って

いくキリスト者の姿を確認することができました。次に「自己紹介」と「各地からの報告」の時間がもたれ、「各地からの報告」としては、「YWCAにおける9条を守る活動」「指紋押捺―改定入管法問題」「教育現場における日の丸・君が代強制問題」「平和ネットワーク・関東の働き」の報告がありました。報告者の話を聞き、一つ一つを自分の問題として心にきざむ大切なひと時となりました。これらの報告を受けて、参加者が3つの分科会―「9条」「指紋押捺」「日の丸・君が代強制」―に分かれ、話し合いを通して課題への共通理解を深め、また何らかの呼びかけにつなげたいという思いから「政府に対する要求」教会へ

の呼びかけ「私達自身の決意」を導く試みが行なわれました。

最後に、それぞれの分科会での成果を元に今回の「集い」のメッセージとするために、全員でさらに話し合い確かめ合い、私達の言葉とする作業が行なわれました。そしてこの「私達の言葉」は各教区へ発信する予定になっています。これらのプログラムの合間にも2012年に開催される「宣教協議会」と日本軍「慰安婦」問題のアピールが行なわれ、充実した2日間は13日夕方の開会礼拝において、主が示された道を共に歩む祈りの仲間としてまた集えることを祈念し終了となりました。

黒澤圭子
(東京聖テモテ教会)